

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島県立賀茂高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 739-0043

東広島市西条西本町16番22号

E-mail : kamo-h@hiroshima-c.ed.jp

Website : http://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp

児童生徒数：男子 368名 女子 453名 合計 821

名

児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

①東広島 ESD 研究大会

11月1日東広島 ESD 研究大会を開催した。パネルディスカッションでは、東広島市立入野小学校・東広島市立中央中学校・広島県立賀茂高等学校・広島大学・ミチュホル外国語高等学校（韓国・賀茂高校姉妹校）がパネリストとして、各校の取組みを発表した。

②防災の視点を取り入れた ESD の実践

教科を横断し単元内容につながりを持たせ、またそれらと総合的な学習の時間で指導しているディベート指導によって、生徒に知の総合を促し、思考力・判断力・表現力を高めさせることを目標に実践研究を行った。その結果、ESDの視点に立った学習指導で重視する7つの能力・態度全てが高まったことは確認できなかったが、その中の「他者と協力する態度」、「未来を予測して計画を立てる力」、「つながりを尊重する態度」の3つの能力・態度については高まったことが確認でき、思考力・判断力が高まり、連携しようとする態度の向上が認められた。

この概要については、ユネスコスクール公式ウェブサイトにも地域TOPICとして発信した。

③ミチュホル外国語高等学校との姉妹校交流

平成25年3月15日の姉妹校提携後、生徒同士のSkypeでの交流、韓国文化理解講座受講の後、7月30日～8月1日にミチュホル外国語高等学校とスポーツ交流（サッカー）を行った。また、Skypeを用いて、交換授業を行ったり、生徒同士の手紙交換を行ったりした。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 夏季休業中 ）